



田尻町議会だより

たじりの風

8621人

Vol.127

令和3(2021)年
6月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



令和3年第1回臨時会が5月10日に開催され、2年間の新議長、新副議長ほか、議会の各種委員を選出いたしました。（新役員については12ページに掲載しています。）

主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 7 頁
- ★ 審議結果 (3月・5月議会) 11 頁
- ★ 6月議会の日程 11 頁
- ★ 議会新役員一覧 12 頁

3月議会 一般質問

- 坂口 実 議員 1. デジタル・ガバメント推進強化を
2. 広域連携について
3. 公共施設マネジメントについて
- 原 明美 議員 1. (仮) 田尻町教育センターについて
2. 田尻町公共施設等総合管理計画について
3. 田尻町国土強靱化地域計画について
- 東 小夜子 議員 1. コミュニティバスについて
2. 高齢者への移動支援について
- 金田 裕治 議員 1. クレジットカードやスマホアプリでの税金等の納付について
2. 小中学校新入時の保護者負担ゼロについて
- 射場 隆裕 議員 1. 自動運転カーの可能性について
2. 田尻町内全域DX(デジタルトランスフォーメーション)化を求めます
- 吉開 育子 議員 1. 「SDGsを町政運営に」とした今年度の取り組みについて
2. 町道新家田尻線の拡幅を
3. スクールゾーン標識の規制の変更を
- 小川 雄司 議員 1. (仮) 田尻町総合文化センター基本構想について
2. 中学校の移転建て替えを
- 仁部 順行 議員 1. 耕作放棄地の発生防止と解消を図るため、農地の集約化、農道整備を
早急に
2. 過去の議員の一般質問に対する進捗状況や回答を求める
- 中川 達夫 議員 1. 3年度町長の施政方針を問う

※一般質問の様子は町のホームページ上で閲覧できます。(You Tube による動画配信です)
・ 閲覧方法・田尻町のホームページ
www.town.tajiri.osaka.jp/ ⇒ 町議会 ⇒ インターネット配信

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



坂口 実 議員

問 デジタル・ガバメント推進強化を

答 国の基準の手順に従ってやっていく

問 去る2月9日政府において、デジタル改革関連法案が閣議決定され、今国会の会期中の法案成立と認識している。「まず、マイナンバーカードの機能のうち、電子証明書をスマートフォンに搭載可能となり、これによりスマホのみで行政手続きが可能となり、ゆくゆくは官民の提供する各種の手続きが完結できる環境に繋げていきたい。」と、現担当大臣が明言している。デジタル庁設置後のスピードに対応できるのか。施策展開の現状取組を確認する。

利用者起点、LINE等の民間外部リソースの活用や大阪府との共同連携、またクラウド契約の共通自治体以外でも広域連携の促進が必要ではないか。

また町長より、デジタル・ガバメント宣言戦略を

新たに発出し、メッセージ化することが必要ではないか。町長の認識を確認する。

答 **総務課長** 国にて「デジタル・ガバメント実行計画」における自治体の情報システムの標準化・共通化などデジタル社会構築に向けた各施策を効果的に実行していくために、自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)推進計画が示された。国の施策展開を踏まえつつ、進め方について自治体DX推進手順書として2021年夏を目途に提示するとあり、この手順書に基づき、国、大阪府、他の自治体と足並みを揃えながら進めたい。

答 **住民課長** 行政サービスのデジタル化のカギとなるマイナンバーカードの本町の申請状況は、申請サポート事業を展開した結果、本年1月末時点の申請率は39.9%と府内2位となっている。今後は、府内ナンバー1の申請率を目指していく。

答 **栗山町長** ソサイエティ5.0の時代を迎えて、デジタル技術が生活にも行政にも入ってくる。それに乗り遅れないように国の基準の手順に従ってやっていくことが田尻町のやるべき道である。



原 明美 議員

問 (仮)田尻町教育センターの活用法は

答 教育支援センターとしても活用していく

問 2階の一般教室はICTを活用して効率的な授業を行うとのことだがその効果は。

答 指導課参事 プロジェクターを使い、教科書が黒板に映し出されることになり、板書の時間が短縮される。その分、体験学習等ができると考えられる。また、テストについてもアプリを利用し答えていき、間違えた問題は、少し前に戻ってしっかりと復習ができる。その子にあった学習ができ効率化も図れる。

問 教育センターは今後の田尻町の教育にどのような影響を持つのか。

答 教育長 基本は学校で明るく楽しく学習し、子ども同士で学びあい、社会で自立できる人を育てていくことだが、様々な理由で学校に來れないなどの不安を抱えている子どもがいる。今回の教育センターはこういう課題にも対応できるようにと考えている。

問 小中学校は現地建て替えが基本か

答 現地建て替えを基本に考えている

問 小中学校の建て替えはなぜ旧館のみで現地建て替えなのか

答 教育次長兼指導課長 古い順番でいうと小学校の旧館からになるが、小中一貫教育を進めていく上で、どういう建て替えが一番いいのか考えていく。また、現小中学校は町の真ん中に位置しており、地域との交流を図る上でも最適な位置にある。田尻ならではの教育を目指していくためにも、現地建て替えを基本に考えている。

ただ、旧館のみの建て替えなのか、エンゼルをどうするのかも含め今後検討していく。



東 小夜子 議員

問 コミュニティバスの利用促進や利便性の向上は

答 駅前ロータリーを整備し利便性を図る

問 令和元年5月13日 コミュニティバスが運行され、アンケートも行われた。

アンケート結果を踏まえて「まだ利用したことがない人と月1回未満の利用しかしていない人がいる。原因の把握と課題整理を行い改善策、利用促進の検討を行う」とあるが利用促進や利便性の向上についてどの様に取り組んでいるのか。

答 都市みどり課長 運転手の対応の改善やバス停へのベンチ設置などを行った。今後コロナウィルス感染症の影響がなくなれば広報など活用しモデル

ルートの提案など行う。

吉見ノ里駅周辺整備はコミュニティバスが乗り入れできるよう駅前ロータリーを整備し、利便性の向上を図る予定である。

問 高齢者への移動支援は

答 基準等を検討していく

問 以前から言われていたコミュニティバスへの利用が困難な高齢者への移動支援を考えるべきでは。

答 福祉課長 高齢者を対象に要介護者認定を受けている方と受けていない方に分けてアンケート調査を実施。結果を踏まえて具体的に検討する。

- ・具体的な内容としてタクシーを利用するのか。
- ・熊取町みたいに移動支援事業を行うのか。
- ・利用対象者をどうするのか。
- ・要介護認定を受けている方も利用できるのか。
- ・障がい者の方も使っていただくのか。

という基準等を検討する。



問 小中学校入学時の保護者負担の軽減策は

答 緑化推進記念樹と給食の無償化で対応している

問 小中学校に入学する際には、制服やランドセルなど多額の費用がかかる。保護者負担の軽減策について、以前質問した時に前向きに検討するとの答弁だったのでその後の進捗を問う。

答 学事課長 人生の節目となる記念として記念樹を贈呈している。また、給食費の無償化を実施することによる保護者の負担軽減に取り組んでいる。

問 入学にかかる費用はどの程度か。

答 学事課長 標準的なケースで5万円程度かかる。

問 以前、町長はお祝いの意味での対応を考えているとのことであったが。

答 町長 入学時に一時のお祝いのものをするよりも、給食費無償化を継続的に行った方が実質的であると考えている。



問 自動運転カーの導入は

答 今後の技術開発や法整備を注意深く見守っていく

問 現状、たじりっちバスは町内の狭い道路や駅前商店街に入れれないのが課題となっており、田尻町発展のため高齢者のみなさんの移動手段として、自動運転カー導入を検討しては。

答 都市みどり課課長 令和元年5月からすべての住民の利便性の向上を目指し、たじりっちバスの運行を開始した。自動運転カーの導入は先進的かつ斬新ではあるが、今の法整備でいくと、自動で車を走らせることは難しい。今後普及されていくことによって法整備も新たにされていき、技術が発達して、安全な車が出てくる。現時点では、注意深く田尻町も時代に乗り遅れないような形で見守っていく。

問 田尻町にデジタルトランスフォーメーション化を

答 現時点では事業化の予定はない

問 田尻町をデジタルトランスフォーメーション化のモデルタウンとしてまずは町内全世帯インターネット環境を求める。また、自宅にしながら行政サービスを受けられる環境を求める。

答 企画人権課長 本町においてデジタルトランスフォーメーション化を進めることは、住民の皆様の利便性向上や行政の効率化の観点から重要なテーマであると認識している。公共サービスとして各世帯にインターネット接続環境を整備することの必要性は低いものと認識しており、現時点では事業化の予定はない。

答 総務課長 マイナンバーカードを利用して申請を行うことが想定されている手続きはオンライン手続きが可能となるように、国の指導のもとしっかりと導入に向けて検討・取組みをしていくことを考えている。



吉開 育子 議員

問 商店街通り(町道新家田尻線)の
拡幅を

答 駅前整備を進めながら検討する

問 共産党議員団が実施した町民アンケートに、「駅から商店街にかけて人通りが多く、出勤時は特に車が通行しにくいので、早く何とかしてほしい。」という要望が届いた。商店街の道路幅が狭いことから、朝は特に通勤、通学や登校する小・中学生で人通りが多く、駅前商店街通りを拡幅することで解消されると思われる。

答 **都市みどり課長** 令和5年度末まで予定している駅前ロータリーや踏切の拡幅を行うなかで、多少緩和されると思うが、現在の工事をすすめながら、駅前商店街通りの拡幅の検討をしたい。

問 通学路の規制を「日・休日を除く」に変更を

答 地元地区会等から要望を行ってほしい

問 田尻エンゼルの前の道路と、保育所から小学校前を通り春日神社の信号までの町道は、通園通学時間帯は歩行者・自転車専用で自動車通行禁止の規制がかかっている。町民の方から「保育所が休みの日・休日まで規制されるのはおかしい」と指摘されている。標識に「日・休日を除く」と変更すべきではないか。

答 **土木下水道課長** 泉佐野警察との協議では、大阪府下では一般的に全日規制を行っているところが多く、変更を行う場合は、学校、近隣住民等の意見として、地元地区会等から要望を行ってほしいとの回答であった。



小川 雄司 議員

問 (仮)総合文化センターは、図書館・ホールなどにしぼって構想を

答 基本計画で調整したいと考える

問 阪南市は公民館が4つあり、足りない図書館とホールなどをサラダホールで補っている。田尻町公民館は築39年、途中で大規模改修も行っている。今後、雨漏りなどの修繕を行い、引き続き公民館として運営しながら、駅上広場につくる構想の(仮)総合文化センターは、公民館に足りない図書館と多目的ホールなどに集約して建てることを提案する。

答 **社会教育課長** 現在お示ししているのはあくまで案であり、次年度に予定している基本計画で調整したいと考える。

問 小・中学校はなぜ、基本的に
現地建て替えか

答 同一敷地内であることが良きであり強みである

問 共産党議員団のアンケートで「小・中分離して中学校を移転し体育館や温水プールを整備する」提案に60.9%が賛成を示している。小・中学校の現地建て替えは仮設校舎が必要だし、教育環境の改善にもならないのに、なぜ、現地建て替えを基本として検討するのか。

答 **教育次長兼指導課長** エンゼルも含め小・中学校は町の真ん中で地域との交流を図るうえで最適。小・中学校が同一敷地内、運動場を共有が一番の問題ではなく、田尻町のよさであり強みであり、そのうえで、保幼小中一貫教育を進めることができるからである。



仁部 順行 議員

問 耕作放棄地の発生を防ぐため、農地の集約、農道整備を

答 町もしっかりとサポートする

問 田尻町農業委員会が令和2年度農業経営の意向に関するアンケート調査を行ったところ、今後、耕作することが困難と答えた方が多く、その主な理由が高齢化、後継者不足、また、水路関係、道路関係、農地の大きさなど、農地の条件が悪いなどであった。こうした農業経営の現状を踏まえ、早急に農地の集約、農道整備を進めて頂きたい。

答 **産業振興課長** 今回のアンケート調査から、農地の集約化や農道整備による農業の効率化の必要性を感じている方が多く、田尻町の農業は将来を見据えた改革の時を迎えており、今後、農業委員会、土地改良区の方を中心として農地の集約化、集団化、農道整備等、町もしっかりとサポートする。

問 過去の一般質問の進捗状況や回答を求める

答 過去の質問に誠実に説明する

問 本会議で一般質問を行った際、これまで何度か町の答弁で、調査して検討するという答えがあった。他の議員も同様の答弁をされている。その後、調査検討の答えが返ってこないのが現状である。これでは一般質問をしてもその場限りで、検討という言葉は町の答弁の逃げ道としか思えない。そこで、議員が一般質問を行い、その場で明確な回答を頂けない場合には、次の議会での進捗状況や回答を求める。

答 **総務部長** 長い年月をかけて議論すべき事、明日からでも出来る施策もあり、大きな時代の流れ、経済状況や移り変わって行く時代の中でうやむやになって各議員に十分な情報が行き届いていなかったところは反省する。議会での審議結果を忠実に実行するのが行政の責務であり、全庁的に再確認して進めていく。



中川 達夫 議員

問 (仮)田尻町総合文化センターの基本計画とは

答 完成に向けての基本計画の策定を行う

問 (仮)田尻町総合文化センターの整備に向け基本構想の策定を進めており、3年度ではより具体的な実現に向けた基本計画の策定を行い、着実に施設整備を進めるとあるがどのような計画か。①将来を見据えた財政計画②公共施設の建て替え優先度③人口に対して見合うものか④環境に対する諸問題⑤住民説明会の有無、以上問う。

答 **総務課長** 財政計画は大阪府と共同で財政シュミレーションを策定中であり公共施設等総合管理計画に基づき財政運営を行っていく。また、

公共施設建て替えの優先度は利用者の安全確保、防災、法律での義務付けなど様々な視点により判断する。

答 **社会教育課長** 規模は現公民館の2倍、図書室は4倍になる。防災機能、災害等の後も一定機能する必要性から妥当な規模である。また、環境に対しては騒音や振動に影響がないように周辺環境に配慮した計画設計にする。

答 **栗山町長** 住民説明会については、住民に対して周知説明を文化センターについてもしっかりと説明していく。



3月議会 委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 仁 部 順 行

審査結果、並びに経過報告 (3月8日開催)

◎田尻町職員定数条例一部改正の件

(条例の制定) 【全会一致で可決】

問 (令和3年度から小学校全学年を35人学級編成とするため講師2名を採用とのことだが、) 講師は常勤か、また、どの学年が増えるのか。

答 常勤講師で、増えるのは小学4年と6年である。

問 35人学級実施にあたり、府からの教員配置や予算配分の見通しは。

答 35人学級の制度については、令和3年度は小学2年生が、令和4年度は小学3年生が、と以降順次拡大していく形になると府教委から聞いている。

◎田尻町公園条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 今は、色々な公共施設で障がい者雇用を考えていけないといけないが、障がい者を公園管理などで雇用する考えはないのか。

答 内容によってはできるものもあると思う。そういう人がいれば、シルバー人材センターとの協議になる。

問 たじりっち広場に、盲導犬等を連れて入ってもいいのか。

答 現在禁止になっていないので、盲導犬も含め犬を連れて入っても問題はない。

◎令和2年度田尻町一般会計補正予算(第9号)の件

(16,969万6千円の減額) 【全会一致で可決】

問 ふるさと応援寄附金が増額されているが、今年度どれくらい増えたのか。

答 昨年12月末現在の寄附金実績が1,160万円ほどであった。令和元年度の決算額が200万円強だったので、5倍以上に増えている。

問 たじり地域づくり活動助成金の今年度の実績は。

答 今年度初めて予算化した事業であり、田尻町観光ボランティア養成講座と、野菜の直売所を運営することによるコミュニティの造成、という2つの事業を採択した。

◎令和2年度田尻町下水道事業特別会計補正予算(第2号)の件

(2,104万3千円の増額) 【全会一致で可決】

問 浸水想定区域図作成業務の事業内容は、また、ハザードマップはいつ頃できるのか。

答 内水浸水災害の頻発化・激甚化を踏まえ、雨水浸水対策に係るソフト面の整備として、ハザードマップ等作成の基礎データとなるもので、今年度3月末にできる。ハザードマップは、来年度から作成する予定である。

問 放流渠部等整備実施設計の事業内容は。

答 吉見片地区の雨水整備事業に関するもので、同地区一帯の田畑約7ヘクタールの浸水対策を行うための実施設計。今年度末に完成予定である。

文教厚生常任委員会

委員長 中 川 達 夫

審査結果、並びに経過報告 (3月9日開催)

◎田尻町国民健康保険条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 税制改正に伴うものとのことだが、条例改正による保険料への影響は。

答 給与所得・公的年金所得控除が10万円引き下げられ、基礎控除が10万円引き上げられたことで、不利益が生じないよう改正したものである。保険料には影響はない。

問 今回の税制改正をうけて、大阪府が激変緩和措置を府内の全市町村に拡げたというわけではないのか。

答 大阪府の国保運営方針に基づいて、全ての自治体に激変緩和措置をとることと今回の税制改正は、全く関係がない。激変緩和措置の財源を全ての自治体に措置することにより、令和6年度に田尻町が到達すべき統一保険料が下がるので、これから3年かけて登っていく階段の高さが低くなる。

◎田尻町介護保険条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

◎田尻町附属機関条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 田尻歴史館指定管理者候補者選定委員会の人数と構成は。

答 委員の人数は6名で、その構成は、学識経験者3名と、地元の方から3名を考えている。

問 学識経験者は、文化財に関する専門家なのか。また、地元の方というのは各種団体の長だと思いが、一般住民の方を募集して入ってもらう予定はないのか。

答 学識経験者については、文化財と観光の分野の大学の先生を検討している。一般住人の方を公募する予定はないが、その代わりに、住民アンケートを実施する予定である。

◎令和2年度田尻町一般会計補正予算(第9号)の件
(16,969万6千円の減額) 【全会一致で可決】

問 固定資産税の土地・家屋の減額は、新型コロナに係るものだと思うが、その実績は。

答 徴収猶予の特例を受けた件数は約40件で、その内、年度内に収入される分が10件、令和3年度に収入される分が30件である。

問 引き続き収入減で納付が困難な人に対して、延長はできないのか。

答 令和3年度に関しては、国の方針がまだ出ていない。

問 子どものための教育・保育給付費の増額は、広域入所が増えたためとのことだが、何人増えたのか。

答 0歳児の途中入所で3名、満3歳児で2名が増えた。

◎令和2年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)の件
(350万5千円の減額) 【全会一致で可決】

◎令和2年度田尻町介護保険特別会計補正予算(第3号)の件
(255万円の減額) 【全会一致で可決】

問 施設介護サービス給付費の減額は、新型コロナの影響で減ったということか。

答 件数が2、3件減ったためだが、新型コロナとは関係ないと思う。訪問系の給付費が増えているのは、新型コロナの影響によるものと考えられる。

予算特別委員会

委員長 坂口 実

審査結果、並びに経過報告 (3月11、16日開催)

◎令和3年度田尻町一般会計予算の件
・55億2,200万円 【全会一致で可決】

歳入

問 町民税は前年が7億3,000万、来年度が4億6,000万と4割減になっている。これは法人町民税、個人町民税、それぞれどうなっているのか。また本町は、町税全体の8割方が関空関連税収であるが、そのへんは幾ら見込んでいるのか。

答 法人住民税については2億2,965万円の減となっている。これはコロナウイルス感染症の影響による業績不振と法人住民税における税率変更によるものである。個人住民税も3,460万9,000円の減となっており、同様にコロナウイルス感染症の影響により所得が低下すると見込んでの減額したものである。関空関連税収については、関空関連企業の法人住民税で差が大きい。

問 ふるさと応援基金繰入金は今年度752万6,000円とあるが、泉佐野市がやっているように『このお金は教育に使ってください』とか、『このお金は福祉に使ってください』などとするのが可能なのか。

答 ふるさと応援基金からの繰入金については、例年継続的に行っている事業に繰り入れるものに加えて、令和3年度については、(仮称)教育センターの整備事業の一部に、この教育のためにということ で頂いた寄附金を充当していく形である。

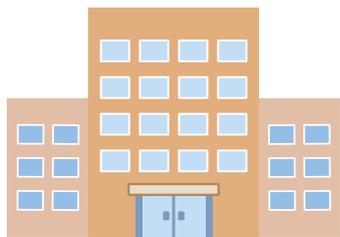
総務費

問 寄附謝礼については、前年度210万円の予算であったものが今年度800万円となっている。この差は何か。

答 ふるさと応援寄附金に対するいわゆる返礼品を送るための経費であり、今年度から返礼品の内容を一部拡充したことで前年度に比べかなり寄附額が増えている。返礼品は地元の共通返礼品を取り扱うというルールがあるが、現在、泉佐野市と相互融通をしており、今後も近隣の市町と協議を進め拡充を検討をしていきたい。

問 個別施設計画等策定業務委託料とあるが、委託の進み具合は。また、公民館は築38年ほどであり鉄筋コンクリートなので60年ぐらいの長寿命化も可能と思われるが、どう考えているのか。

答 平成28年度に策定した田尻町公共施設等総合管理計画を踏まえ、令和元年度、2年度で各施設の劣化状況の診断と、個別施設計画等の策定をおこなった。令和3年度は、診断結果を踏まえて、公共施設等の総合管理計画を見直していく。公民館については基本構想でもう一度皆さんに議論いただきながら、改修方法等
を検討していき
たいと考えてい
る。



民生費

問 総合保健福祉センターの有効活用事業委託料とあるが、令和2年度は運動器具をレンタルしたもののコロナ等の理由できなくなった。今年度はどういう計画なのか。

答 令和3年度の総合保健福祉センターの有効活用事業については、週4回、何らかの教室をしていきたいと考えている。簡易なマシンも約6台、レンタルで置いていきたい。コロナの対策として空気清浄機や消耗品なども予算計上している。

問 いつ頃をめどにと考えているか。

答 利用者は高齢者の方が多いこともあり、早急にしていくか、高齢者のワクチン接種が一定済んだ時期を目指して進めるのか、状況に応じて検討していきたい。

商工費

問 観光協会補助金395万5千円とあるがこの内訳は。

事務所費やランニングコスト、人件費などは入っ

ているのか。

答 観光協会は6月に開設予定であり、初期経費として、机、棚などの備品、ホームページの開設費のほか、毎月の家賃や水道光熱費、ネット環境料などのランニング経費を計上している。人件費は入っていない。

問 役場でも、何々課といったら当然職員もいるものである。事務所だけつくって事務経費に人件費が入ってない（人を雇わない）のはどういうことなのか。

答 まずは漁港に観光案内所を設置する。さらなる支援が必要であれば、町としてしっかり支えることを検討していく。



教育費

問 (仮) 田尻町総合文化センター基本計画作成業務委託料1,700万円があがっているが、全体的な基本構想全体もまだできていない。議会への提示と、丁寧な慎重な検討は必要と思うが。

答 基本構想の全体の部分についてはいま調整中であり、完成次第、皆様に提示させていただき。あとはパブリックコメントというかたちで町民の皆様の意見を聞かせていただきたいと考えている。

問 今議会内での答弁によると、公民館を施設として耐用年数ぎりぎりまで使っていくという話もあった。ここからは要望的になるが、既存公民館から総合文化センターに全ての機能、全ての部屋を移すのではなく、講座室、陶芸室、料理室などはそのまま利用して、施設の拡充が求められている図書館や、文化ホール的な多目的ホールに特化して新施設を造っていくべきでは。

答 先日の全員協議会では、公民館、歴史館があるあたりを文化ゾーンとしての位置づけ、例えば公民

館に図書機能を残した上で、その他の機能については駅上のほうに新しく建て替えを行う案、さらに公民館を建て替える案というも提示のさせていただいた。ただ、こちらは今ある機能を分けて、二つの公共施設を管理していくため非効率である。維持管理費もかかってくることから、町としては駅上に建て替えし、機能も集約してそこに人を呼び込む案を提示させていただいた。

賛成討論

ウォーキング歩数や各種事業への参加にポイントを付与する「たじり健康ポイント事業」は、介護給付費や介護保険料の抑制に繋がると期待でき、高く評価できる。吉見ノ里駅前周辺整備事業は、駐輪場の有料化には反対であるが、通勤通学の安全と利便性の確保のため、住民の声を反映し、円滑な事業の推進を願う。(仮)田尻町総合文化センター整備事業については、「1年間かけて、広く町民の意見を聞いて検討したい。」と答えられたように、巨額の施設建設には慎重に望まれるよう求める

賛成討論

田尻町の未来を支える人材の育成ほど不可欠なものはない。(仮)田尻町教育センターが9月に開設され、田尻町の子どもたちが新たな施設で心の教育とともにICT教育を学べる場となる。何よりも、子どもたちに本物の文化芸術を鑑賞する機会を提供する(仮)田尻町総合文化センターも整備される。ずっと南海本線より上に公共施設をと訴えてきたこともあり、一日も早い完成を願って、予算案に賛成とする。

賛成討論

(仮)田尻町総合文化センター基本計画策定業務委託料が計上されている。「南海本線より山側に公共施設が必要である」と、一般質問でも述べてきたが、新たな施設には防災機能が充実し、避難所としても使用でき、図書室も充実する。駅からも近い。多くの人に利用してもらえるように、また田尻町の文化の発展場所となるようにと期待する。ただ住民への説明はしっかりと行ってほしい。そして、これだけ大きな事業が進もうとしているので、住民税

10%減税は見直してほしい。

◎令和3年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)予算の件

・8億3,183万4,000円 【賛成7、反対2で可決】

問 今後1人あたりの保険料が上昇していくことは否定しようがない。町民アンケートでは「大阪府国保運営方式で統一保険料にすることは変更すべき」という答えが回答者の54.8%もあった。せめて令和6年度に統一保険料を課すことを延長すべきでは。

答 保険制度というのはナショナルミニマムであり、全体で支えるものである。府内統一についても決まったことである。収入額が同じであれば、どこの市町村であっても保険料額が同じということが基本の考え方と思う。

反対討論

予算では保険料が1人あたり7,000円の引き上げとなっている。大阪府統一保険料への合流を前提にした引き上げであるが、引き下げに充当できる基金が約1億円あることを考えると、加入者からすれば納得しづらい。また、府の国保激変緩和措置の全面拡大実施など、統一保険料化に伴う問題は、府内全体の問題として顕在化している。保険料などによる基金が保険料引き下げに活用できない問題や、保険料の統一年度の先延ばしなどを引き続き求めていく。

◎令和3年度田尻町後期高齢者医療特別会計予算の件

・1億3,291万1,000円 【全会一致で可決】

◎令和3年度田尻町介護保険特別会計予算の件

・8億1,675万3,000円 【全会一致で可決】

◎令和3年度田尻町下水道事業特別会計予算の件

・6億4,024万8,000円 【全会一致で可決】



3月議会 審議結果

意見が分かれた議案名	審議結果	仁部順行	金田裕治	吉開育子	小川雄司	東小夜子	中川達夫	大門久恭	原明美	射場隆裕	坂口美
令和3年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算の件	原案可決	○	○	×	×	○	○	議	○	○	○

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし

令和3年 6月議会の日程（傍聴可能なもの）

3日(木) 本会議（開会日）

4日(金) 本会議（第2日）

※3日(木) に審議が終了しなかった場合のみ開催

7日(月) 総務建設常任委員会

8日(火) 文教厚生常任委員会

9日(水) 委員会予備日

※7日(月)～8日(火)に審議が終了しなかった場合のみ開催

18日(金) 本会議（閉会日）



上記日程は、現時点での予定です。いずれも午前10時から本庁舎3階議場にて開催します。傍聴にお越しの際は、マスクを着用いただき、席は隣との間隔を空けておかけください。



議会新役員が決まりました

令和3年第1回臨時議会が5月10日に招集され、議長に中川 達夫氏、副議長に射場 隆裕氏が、常任委員会等の各委員の選任や特別委員会の設置については下記のとおりとなりました。

議 長	中 川 達 夫	副議長	射 場 隆 裕
-----	---------	-----	---------

総務建設常任委員会	Ⓐ 大門久恭	Ⓑ 射場隆裕	小川雄司・東小夜子・坂口 実
文教厚生常任委員会	Ⓐ 金田裕治	Ⓑ 原 明美	仁部順行・吉開育子・中川達夫
議会運営委員会	Ⓐ 小川雄司	Ⓑ 東小夜子	原 明美・射場隆裕・坂口 実
空港関連対策特別委員会	Ⓐ 小川雄司	Ⓑ 坂口 実	東小夜子・大門久恭・射場隆裕
議会改革特別委員会	Ⓐ 射場隆裕	Ⓑ 坂口 実	仁部順行・金田裕治・吉開育子・小川雄司 東小夜子・中川達夫・大門久恭・原 明美
災害対策特別委員会	Ⓐ 東小夜子	Ⓑ 小川雄司	仁部順行・金田裕治・吉開育子・中川達夫 大門久恭・原 明美・射場隆裕・坂口 実
公共施設及び学校教育施設建設等特別委員会 ※新設	Ⓐ 原 明美	Ⓑ 射場隆裕	仁部順行・金田裕治・吉開育子・小川雄司 東小夜子・中川達夫・大門久恭・坂口 実
議会だより広報委員会	Ⓐ 射場隆裕	Ⓑ 吉開育子	東小夜子・中川達夫・原 明美
監 査 委 員	東小夜子		
都市計画審議会	小川雄司・東小夜子・原 明美・射場隆裕		
浅草共有山組合会議	仁部順行・金田裕治・大門久恭・原 明美		
泉佐野市田尻町清掃施設組合議会	金田裕治・吉開育子・中川達夫・射場隆裕		
泉州南消防組合議会	小川雄司・坂口 実		

※ Ⓐ 委員長 Ⓑ 副委員長

編集後記

この127号用より2年間、新メンバーで『たじりの風』の編集を担当させていただきます。よろしくお願いたします。



議会だより広報委員会

委員長 射場 隆裕
副委員長 吉開 育子
委員 東 小夜子
委員 中川 達夫
委員 原 明美